



報道関係者各位

2010年4月吉日

WASARA in USA

－ 現地代理店と正式契約締結、及びクーパーヒューイット国立デザイン博物館のナショナルデザイントリエンナーレに協力参加が決定 －

この度株式会社 WASARA は 2010 年 1 月 28 日より、米国はサンフランシスコを拠点とする Branch Projects Inc. (245 South Van Ness Ave., Suite 304 San Francisco, CA / URL www.branchhome.com) と北米におけるパートナーシップを締結いたしました。これにより北米での WASARA の流通網が本格的に開拓され、同時にブランド認知および評価も大きく上昇することが見込まれます。

また、ニューヨークはマンハッタンにある米国スミソニアン協会のクーパーヒューイット国立デザイン博物館 (Cooper-Hewitt National Design Museum www.cooperhewitt.org) にて、5 月 14 日から 2011 年 1 月 9 日まで開催される展示会「ナショナルデザイントリエンナーレ (National Design Triennial: Why Design Now?)」に WASARA が日本を代表する紙の器ブランドとして展示されるはこびとなりました。

クーパーヒューイット国立デザイン博物館は、歴史上重要なデザインや現代のデザインを取り上げた米国唯一のデザイン博物館です。意欲的な教育プログラム、展示、出版物などを通じ、デザインが日常生活に果たす役割を斬新な視点で捉えています。同じく 2000 年より開催されている「ナショナルデザイントリエンナーレ (National Design Triennial)」は、現代文化の中で最も革新的なデザイン作品が 3 年に一度一般公開される展示会で、4 回目となる今年は建築、プロダクト、ファッション、グラフィックス、ニューメディア、およびランドスケープ分野において、特に環境問題を意識した優れた作品が選出、展示されます。

WASARA は日本を代表する環境に優しくデザイン性に優れた紙の器ブランドとして展示されるほか、同展示会の一般公開に先立って 5 月 13 日に開催されるオープニングレセプションのオフィシャルテーブルウェアに任命され、カップ類の協賛を通じて参加者に広くブランドを知っていただく機会をいただきました。さらに同博物館内のミュージアムショップにて 5 月より WASARA コレクションが販売開始されることも決定いたしました。

また展示会期間中、iTouch アプリケーションで展示会情報が配信されるのに伴い、WASARA は展示会を代表する作品のひとつとしてクリエイティブディレクター緒方慎一郎による 3 分間の英語解説つきインタビューコンテンツを配信することも決定いたしました。



今回の「ナショナルデザイントリエンナーレ」参加により、北米での WASARA ブランドへの認知が、ブランドコンセプトへの共感と共に高まることを期待しております。

WASARA について

WASARA は紙の器での新たな楽しみ方とライフスタイルを提案すべく、2008 年 5 月に立ち上がった、これまでにない全く新しい紙の器です。日本に昔からある美意識や価値観を発想の原点として、おもてなしのシーンに相応しいデザインと機能美を具えています。非木材である葦、竹、バガス（さとうきびの搾りかす）を原材料とし、石油や木材などの枯渇する可能性のある資源を使用しておりません。コンセプトを立ち上げてから 3 年以上の開発期間を経て、日本の「世界有数の洗練された食文化」と「おもてなしの精神」をあらわしたいという想いで発表された WASARA のブランド精神は日本国内のみならず、既に世界各国にて大きな反響を得ております。現在国内では全国のコンセプトショップ、インテリアショップ、百貨店にて展開中で、“エコリユクス”のコンセプトに共鳴するラグジュアリーブランドや美術館からもレセプション時の使用などに多くのお問い合わせをいただいております。

プロデューサー 田辺 三千代

84 年（株）ワールドにて TAKEO KIKUCHI ブランドのプレスチーフ。91 年にスタイリスト、カメラマンのレップオフィス M16 を設立。96 年には M16 のメンズブランドを開始。02 年（株）JUN の広報ディレクター就任。99 年より CAFÉ M（河口湖町西湖）を立ち上げ・経営した経緯から、カフェラウンジ montoak（渋谷区神宮前）の PR ディレクターを兼任。06 年 WASARA ブランドのプロデュースを手掛ける。

クリエイティブディレクター 緒方 慎一郎

「SIMPLICITY」代表

現代の日本の文化創造を目指し食、建築、グラフィック、プロダクトに至るまで独自の審美眼で一貫した日本の美意識に基づくクリエイションを行い、多岐に渡る創作活動を行っている。

2006 年より WASARA の開発をクリエイティブ ディレクターとして手掛ける。
simplicity.co.jp



【写真素材のご要望、掲載や取材に関するお問い合わせ先】

株式会社 WASARA

担当：島 梓無子 E-mail s-shima@wasara.jp